
根本代表監査委員

監査委員の決算審査・財政健全化審査意見（要約）

○　審査に付された一般会計、特別会計及び上水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。又、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

○　平成26年度の日本経済を振り返ってみると、政府の「三本の矢」からなる経済政策等を背景とし、雇用、所得環境に改善がみられ、また、円安の加速により大企業を中心に業績の回復がみられた年度であった。しかし、消費税の引き上げに伴う個人消費等への影響から、特に地方においては景気の回復感は弱いものがあった。

○　歳入・歳出とも減少額が大きい科目は大部分が震災復旧事業に関係している。前年度で当該事業がほぼ終息、これらの事業費支払いが前年度多額であった。

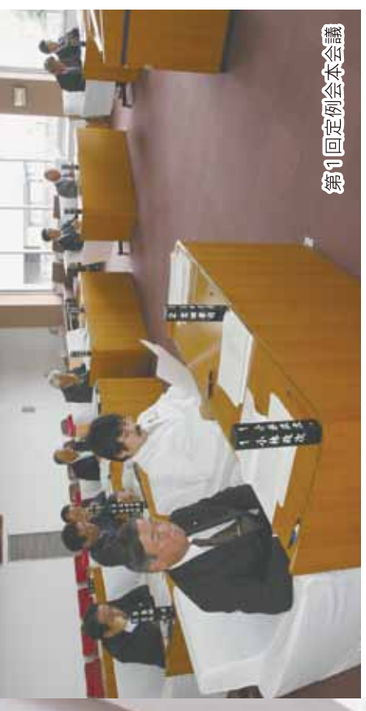
○　26年度の自主財源の構成比は39.6％、依存財源構成比は60.4％と言える。

○　当年度これらの歳出額は前年度に比べ大幅に減少、町の財政内容もほぼ震災前の姿に近づいた。正に「町が蘇り新しい鏡石町が誕生」したと言える。

○　自主財源構成比は前年度比3.7％増とほぼ前年度同様の％となった。自主財源歳入額は前年度比1,687,373千円減少している。要因は町税特に固定資産税の減少、分担金及び負担金、諸収入の減少等である。改善策は、課題である滞納分の収納率向上を含めた町税の増加を図る施策を強力に推進する以外にないと思考する。

○　現在、町では「第5次総合計画」の推進に営々努力中である。震災からの復興を遂げ、町の将来像である「かかわる」の達成に向け執行側と町民が一体となり諸策を推進、注目される「鏡石町」となることを期待する。

○　審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。


第1回定例会本会議

代表監査委員　根本好次
監査委員　井土川高男

主要財政分析指標

（単位：％）

	平成25年度	平成26年度
財政力指数	0.520	0.520
経常収支比率	84.1	86.1
公債費比率	15.5	15.3

財政健全化判断比率

（単位：％）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.00
連結実質赤字比率	—	—	—	20.00
実質公債費比率	17.3	15.8	13.9	25.0
将来負担比率	86.1	46.7	29.4	350.0

編集後記

町民の皆様の要望等を聞くことができ、町民の代表者としてニーズを町政に反映すべく全力を尽くすとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいです。

いご努力いただき、今回は新しい議員も編集委員一同、より一層の努力をいたします。

発行　広報編集委員長　渡辺定己
委員　小林政次
委員　橋本喜一
委員　古川文雄
委員　菊地洋
委員　長田守弘
委員　畑幸一
委員　井土川好高
委員　大河原正雄
委員　今泉文克
委員　木原秀男
委員長　渡辺定己
副委員長　小林政次
委員　古川文雄
委員　菊地洋
委員　長田守弘
委員　畑幸一
委員　井土川好高
委員　大河原正雄
委員　今泉文克
委員　木原秀男

法等を取り入れてまいりますので、開かれた議会を目指し、新しい議員に加わりました。今回は新しい議員も編集委員一同、より一層の努力をいたしますので、皆様のご鞭撻をよろしくお願いします。



No.158
平成27年12月
発行　福島県鏡石町議会
編集　議会広報編集委員会
〒969-0401福島県岩瀬郡鏡石町
不時沼345
電話0248(62) 2110
印刷　㈲永山印刷

かがみいし議会だより

地方創生議会スタート

町議会議員一般選挙が８月30日（日）に行われ、町民の皆さんの代表として２名の新人議員を含む１２名の議員が選ばれました。本格的な少子化時代を迎え、全国各地で自治体の維持が問題となっている今、本町でも新たな「まちづくり」が期待されています。こうした期待を担う町議会議員の船出は、まさに地方創生議会のスタートになりました。

議席番号	議員名	当選回数
1	小林政次	2
2	吉田孝司	1
3	橋本喜一	1
4	古川文雄	2
5	菊地洋	2
6	長田守弘	2
7	畑幸一	2
8	井土川好高	2
9	大河原正雄	5
10	今泉文克	5
11	木原秀男	5
12	渡辺定己	4